

学校経営基本方針『自立貢献』夢をもち 自分で考え 判断し行動する  
 基本方針と努力事項『確かな学力』『豊かな心』『たくましい心と体』『信頼される学校』

	目標	実践内容	具体的な取組	成果と課題	自己評価 4段階	委員評価 4段階
に伸びる 一 生徒の実態を踏まえ、一人一人の学力を確実	学習活動の充実	の徹底 統一した学習指導 学習規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート実施と実態に基づく授業改善</li> <li>・「321の徹底」(3分前入室・2分前着席・1分前黙想)</li> <li>・学力クラスマッチの実施</li> <li>・学びに向かう集団づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の主体的活動(委員会活動)により、学力クラスマッチ対策が充実し、基礎学力の定着につながった。</li> <li>● 学年によっては、授業に落ち着いた雰囲気で取り組むことが出来ない場面があった。</li> </ul>	3	3.0
	教師の授業力の向上	校内研究授業の実施 (全員の研究授業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業による日々の授業の改善</li> <li>・授業研究会の充実</li> <li>・ICTを効果的に活用した授業の工夫・改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全員が研究授業を実施し、ICTを活用した授業について実践することができた。</li> <li>● 県教委が推進する「ひなたの学び」を充実させ、個別最適な学びと協働的な学びを充実させる必要がある。</li> </ul>	3	3.1
II 思いやりや感動する心をもった生徒を育成する	豊かな体験活動の充実	学校外活動との連携 キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育講演会の実施</li> <li>・よのなか教室や高校出前授業など主体的に将来を考える場の設定</li> <li>・キャリアパスポートの作成などによる自己評価の改善</li> <li>・生徒会活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来の職業や自分の生き方にに関する意識を高めることができた。(特に3年生)</li> <li>● 1・2年時のキャリア教育については、事前指導や事後の振り返り・気付きを充実させ、次の学年につなげる工夫が必要である。</li> </ul>	3	3.4
	心の教育の充実	己肯定感の育成 規範意識の確立と自己肯定感の育成 望ましい人間関係づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の推進</li> <li>・多様性を認める指導</li> <li>・時間厳守の指導</li> <li>・学校生活アンケートへの対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協力・思いやりの心や仲間を大切にしようとする心が育っている。3分前入室・2分前着席・1分前黙想を係の呼びかけを中心に取り組んでいる。</li> <li>● 規範意識が低く、授業を受ける雰囲気を乱す行為が見られる。</li> </ul>	3	3.3
付けさせる III たくましく生きるための健康や体力を身に	健康安全教育の推進	する指導の充実 生命・安全を大切に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の充実</li> <li>・新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症対策</li> <li>・「残食ゼロ」指導の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 津波の避難訓練時に実際に高台へ移動するなど防災への意識を高めた。</li> <li>○ 保護者と合同で学校保健委員会を2回実施し、健康安全教育に取り組んだ。</li> <li>● 「残食ゼロ」については、今後も継続して指導していきたい。</li> </ul>	3	3.3
	教育環境の整備	学校設備の充実 実特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の視点からの授業改善や設備の充実</li> <li>・部活動の充実</li> <li>・清掃指導体制の確立</li> <li>・安全点検の実施と破損箇所等の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援教育に関する研修の実施やテレビカバー取付や教室前面の掲示物の検討・整備</li> <li>● 清掃に取り組む姿勢にバラツキがあり、指導を充実する必要がある。</li> </ul>	3	3.0
くりを推進する IV 家庭・地域と連携し、開かれた学校づくり	促進 学校開放の	との連携 家庭・地域の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりの発行とホームページの充実</li> <li>・東海地区青少協との連携及び民生児童委員会の本校開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の取組を学校だよりやホームページに載せ、各家庭に周知した。</li> <li>● 地域の方に参観していただく機会を増やしたい。</li> </ul>	3	3.4
	地域連携事業の創出	学校運営協議会の充実 学校支援ボランティアの積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延岡はげまし隊との連携、内容の充実</li> <li>・学校運営協議会メンバーによる授業や学校行事の参観、あいさつ運動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習支援(数学)や見守り活動(水泳、調理実習、理科実験)など充実した活動ができた。</li> <li>○ 学校運営協議会委員の方々にもご協力いただいた。</li> <li>● 連絡体制を整備し、正確・迅速に伝わるようにしたい。</li> </ul>	3	3.4